



## 集権的か分権的か

理事長 森 勉

私の故郷は岡山県の井原市という小さな田舎町ですが、ご多分に洩れず昔の佇まいを残した変化の少ない鄙びた町になつています。東京一極集中、人口の減少、少子高齢化等により地方の過疎化が著しく、又都道府県と政令指定都市との二重行政の弊害が問題となり、市町村の合併、道州制の導入、首都機能の移転等「地方分権」が叫ばれましたが、平成の大合併により3229個の市町村が1730個に半減した他は殆ど伸展せず、耕作地の放棄、森林の荒廃、鉄道の廃線、学校の閉鎖等が進み、限界集落などという村も散見されていきます。現在の「地方分権」は地方の衰退を解決する最善の方策でしょうか。

私は現役時代全国で10個を超える都道府県に勤務しました。が不思議な事に住民票・戸籍謄本・結婚届等の行政手続きで県庁等を訪れたことは一度もありませんでした。現在の47都道府県は廃藩置県以降江戸時代の幕藩体制下の直轄領、各大名領等の区分を余り考慮せず古の飛鳥時代の令制国即ち武蔵・越後・尾張・備前・肥後等を統廃合し紆余曲折の末明治

21年に行政区分とし定着しましたが、自動車や飛行機でより早く・より遠くへ移動し、情報が一瞬にして世界を駆け巡る現代人の活動領域は都道府県の範囲を遙かに超えています。

日本と米国のカリフォルニア州を比較してみると、日本は人口約1億2500万人、面積約38万平方キロメートル、GDP約5兆ドル（世界第3位）カリフォルニア州は人口約4千万人、面積約42万平方キロメートル、GDP約3兆2千億ドル（世界第5位）です。米国と比較しわが国は1500年以上の長い歴史・伝統・文化から大きな影響を受け、参議院の合区に見られるように一部には既に崩壊している47個もの都道府県があり、人口が約3倍であることを除けば同じような規模の国・州のようです。

わが国は、現代社会の人々の活動領域の拡大、わが国の伝統の継承、カリフォルニア州との比較等を考慮し、住民の身近で行政サービスを提供する市町村を大切にしながら「廃県置州」により47個の都道府県を数個の体力のある自治機能を保持する州に統合し、国家として地方分権ではなくより効率的な中央集権が必然ではないでしょうか。

話が飛躍しますが、中央と地方が並列（分権）な関係で現役のない同窓会的な現在の偕行社と戦前の偕行社と同様に現役の約160個の駐屯地・5個方面隊等の部隊の退官者の「陸修会」との合同では、中央と地方の関係が集権的か分権的かが大きな論点になると思われまます。